

広島市植物公園

見どころ案内

ギンバイソウ(ユキノシタ科)

アジサイの仲間です。白い梅のような花が咲くので名がつけました。葉の先がV字に切れているので、花がなくても見つけることができます。

カライトソウ(バラ科)は、赤紫の猫のしっぽのような花をつけます。花びらはなく、糸状のものはおしべです。

フシグロセンノウ(ナデシコ科)

オレンジ色の花です。茎の節が黒っぽいので名がつけました。

サボテン温室

奇想天外

(ウエルウィッチア科)

花がつけました！
南西アフリカのナミブ砂漠原産の珍しい植物です。2枚の昆布のような葉を出しつづけます。

夏のカラフルリーフ展

7/6(土)~25(木)

展示温室にて

パイナップルリリー(ユリ科)

南アフリカ原産。若いつぼみの時、花房の形がパイナップルに似ているので名がつけました。学名はユーコムスです。

ハンゲショウ(ドクダミ科)

夏至から11日目を半夏生と言います。その頃に花が咲き、葉が白くなります。白い葉は、花が終わるとしだいに、うす緑色に変わっていきます。花は、その気になって見たらタコの足に似ているかも。

リュウブ(リュウブ科)

満開です!! 坂道を登って見に行く価値はありそうです。少し離れて3か所にあります。株立ちした大きな木のこずえに白い花が雪のように咲いています。分類上は合弁花ですが、散るときは花びらがバラバラになるので、まるで雪が舞っているように見えます。

ヒゴタイ(キク科)

青い花を球状に咲かせるアザミの仲間です。つぼみが青くなって開花間近となりました。絶滅しそうな植物として、園では大切に育てています。

アナベル(ユキノシタ科)

アメリカ原産のアジサイ、アルボレスケンスの園芸品種です。花の房が大きいのが特徴です。
森のレストランの休憩展望塔 花が咲き終わって白から緑色に花色が変わりました。

ヒマワリの迷路

今年の迷路は、脇芽を出して花をたくさんつけるソラヤという品種です。

ネムノキ(マメ科)

モクレン 満開です。つぼみがたくさんあって、つぎつぎと咲いているので、しばらく見ごろがつづきそうです。
※ハギ園では、萩の花が咲き始めています。

花ハス(スイレン科またはハス科)

約20種の観賞用ハスが植えられています。ピンクや白花のアジアのハスと黄花のアメリカのハスを交配して複雑な形や花色のハスができました。

